

*前期比：D I・季節調整済

景況

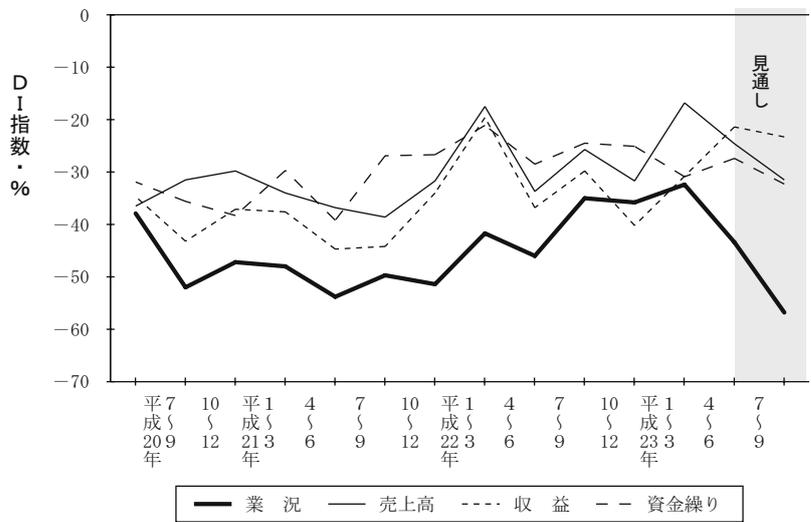
今期の業況判断DI値は-43と前期の予想DI値を5ポイント、実績DI値に比べると11ポイント悪化する結果となりました。売上は後退したものの、収益、資金繰りは改善しました。設備投資については、前期に比べ3ポイント減少し、機械設備の更改を中心に31%の先が実施しました。

来期の予想業況判断DI値は-57と今期の業況判断DI値から14ポイント引続き悪化すると予想しています。また、売上、収益、資金繰りとも後退すると予想しています。設備投資については、今期に比べ2ポイント減少し、機械設備の更改を中心に29%の先が実施を予定しています。

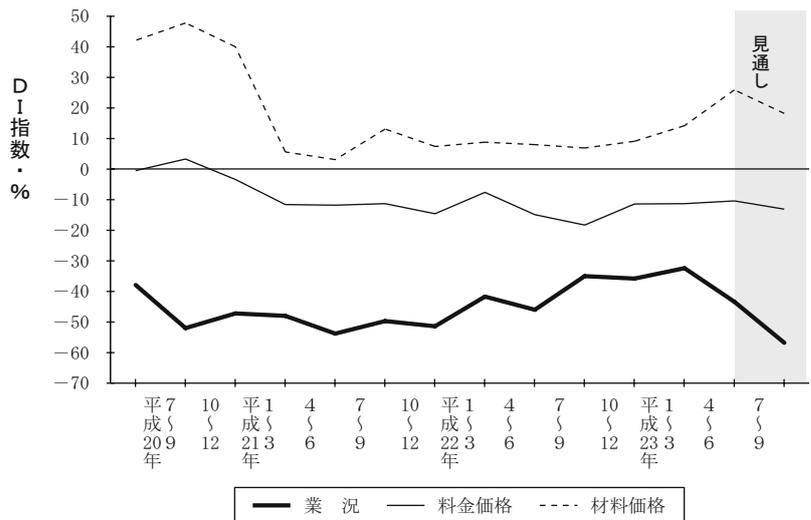
調査員のコメント

- 駅の近くにある旅館のため、震災で新幹線など交通機関の運休で客数がかかり減った。(旅館業)
- 被災地に向かう作業員、調査員の宿泊客が増え、売り上げが増加している。(ビジネスホテル)

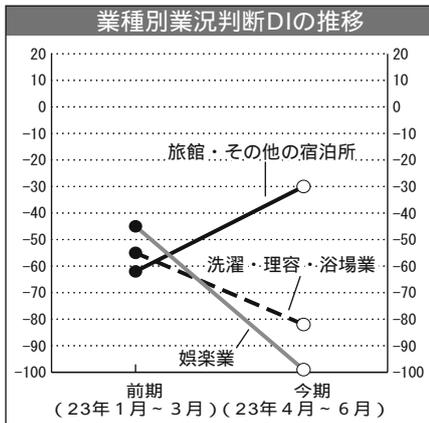
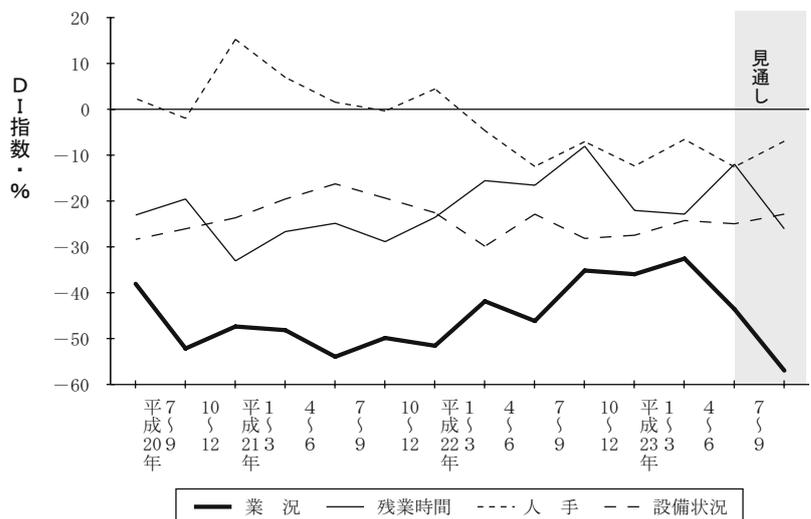
景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況



経営上の問題点		
1位	売上の停滞・減少(1)	56%
2位	同業者間の競争の激化(2)	36%
3位	人手不足	10%

当面の重点経営施策		
1位	経費を節減する(1)	66%
2位	販路を広げる(2)	43%
3位	宣伝・広告を強化する	15%

*()は前回順位